

県内企業景気動向調査報告（2022年10～12月期）

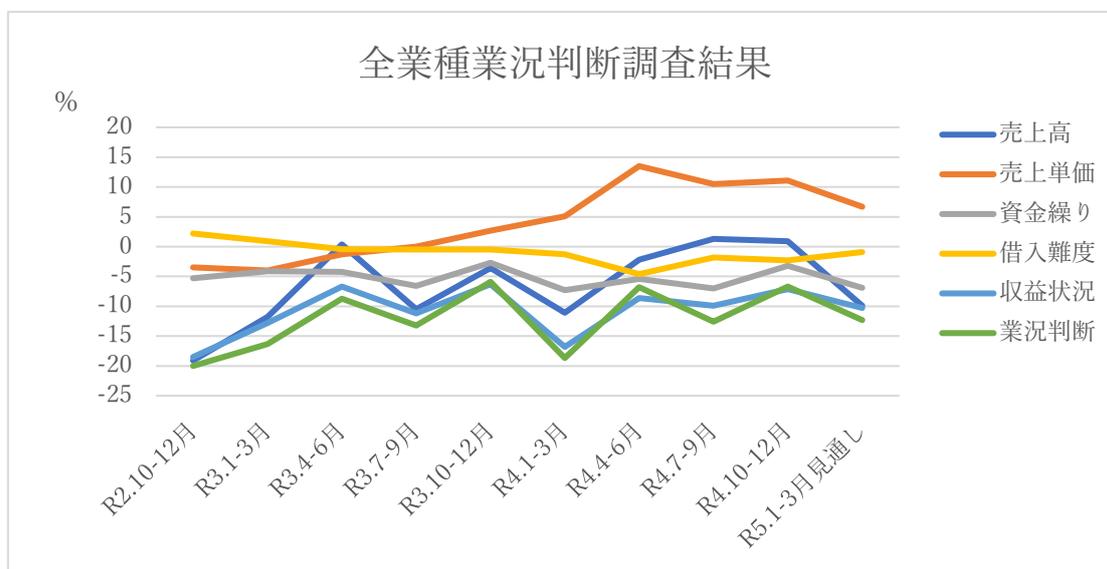
今期の「業況判断」は大半の業種で上昇するも、来期は再び下降する見通し

調査対象 鳥取県内企業（鳥取県下4商工会議所の調査による）
回収数 112社【製造業30社、非製造業82社（建設業25社、卸売業19社、小売業19社、サービス業19社）】

<今期・来期の状況>

全業種における今期の状況は「売上単価」「資金繰り」「収益状況」「業況判断」の4つの項目で前期よりも上昇している。最も上昇を示したのは「業況判断」で、前期から5.9ポイント上昇した。業種別の「業況判断」では、製造業が前期から1.3ポイント上昇、非製造業が7.9ポイントの上昇を示した。非製造業はサービス業を除くすべての業種で上昇傾向を示しており、最も上昇が大きかったのは卸売業で、前期から28.5ポイントの上昇となっている。

来期の見通しについては、「借入難度」以外の5つの項目で下降する見通しとなっており、「売上高」では最も大きい10.8ポイント、「売上単価」では4.4ポイント、「資金繰り」では3.7ポイント、「収益状況」では3.2ポイント、「業況判断」では5.6ポイントを示している。業種別の「業況判断」ではすべての業種で下降する見通しとなり、最も下降が大きかったのは卸売業の13.5ポイントであった。



前年同期比*()内は2021.10～12月期の数字

来期見通し(2023.1～3月期)*()内は前年同期の数字

	回収数	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断
全産業合計	112	0.9 (-3.6)	11.1 (2.7)	-3.2 (-2.7)	-2.3 (-0.5)	-7.1 (-6.3)	-6.7 (-5.9)	-9.9 (-14.4)	6.7 (-0.9)	-6.9 (-5.4)	-0.9 (-0.5)	-10.3 (-14.3)	-12.3 (-14.9)
製造業	30	11.7 (10.6)	16.7 (3.1)	-8.3 (0.0)	-5.0 (-1.5)	-6.7 (3.0)	-3.4 (1.5)	0.0 (-13.6)	6.7 (0.0)	-3.5 (-4.6)	-3.6 (-3.0)	-6.7 (-9.1)	-5.0 (-13.7)
非製造業	82	-3.1 (-9.6)	9.0 (2.5)	-1.2 (-3.9)	-1.3 (0.0)	-7.2 (-10.2)	-7.8 (-9.0)	-13.6 (-14.8)	6.7 (-1.3)	-6.4 (-5.8)	0.0 (0.7)	-11.6 (-16.5)	-14.9 (-15.4)
(建設業)	25	-8.0 (-6.3)	0.0 (-2.1)	-6.0 (4.2)	0.0 (2.1)	-14.0 (-8.4)	-12.0 (-8.4)	-10.0 (-20.9)	2.0 (-8.4)	-8.0 (0.0)	0.0 (2.1)	-16.0 (-20.9)	-16.7 (-22.9)
(卸売業)	19	5.3 (3.1)	26.3 (12.5)	2.7 (-3.2)	0.0 (0.0)	13.2 (0.0)	7.9 (-3.1)	-19.5 (-6.3)	19.4 (0.0)	0.0 (-9.4)	0.0 (0.0)	-5.6 (-15.6)	-5.6 (-12.5)
(小売業)	19	-18.5 (-27.5)	2.5 (2.3)	-2.5 (-11.4)	-5.0 (-4.6)	-20.0 (-25.0)	-17.5 (-23.8)	-15.8 (-23.8)	2.5 (6.8)	-7.5 (-11.4)	0.0 (-2.3)	-15.0 (-22.8)	-23.7 (-19.1)
(サービス業)	19	10.5 (-5.6)	10.6 (0.0)	3.0 (-6.3)	0.0 (3.2)	-5.3 (-3.0)	-7.9 (3.0)	-10.5 (-2.9)	5.3 (-2.8)	-9.4 (-3.1)	0.0 (3.2)	-7.9 (-3.0)	-15.8 (-3.0)

BSI=1/2(X-Z)、X=上昇・増加、Y=横ばい、Z=減少・下降、ただし(X+Y+Z=100)

<直面している経営上の問題点>

- 1位：原材料・仕入価格上昇 (24.10%)
- 2位：売上・受注の減少 (14.46%)
- 3位：経費の増加 (13.25%)
- 4位：人手不足 (11.45%)
- 5位：消費・需要の停滞 (10.24%)

<業種別の問題点等>

◆建設業

- ・補正予算の早期執行を期待する
- ・多少落ちつきましたが、材料などで2割程度の価格上昇や原材料の仕入が不安定な状況が続いています。
- ・原材料の高騰により、利益を圧迫している。
- ・原油価格も高止まり、全ての経費が上がって売上が追い付かない。一昨年、昨年と毎月のように材料が上がっていくのは、事業として成り立っていくのか？

◆製造業

- ・コロナ感染による休業者が多発し工程に負荷が発生した。
- ・製品価格を上げても連日のように原材料の値上がりの話が来る状況です。社員及び社員の家族がコロナ感染で休む者が出ており、思うように製造出来ていません。
- ・熱処理に使用する電力料の急激で大幅な高騰により収益が出せない状況が続いている。更なる値上げの見積も来ていて、事業の存続が困難となりつつある。
- ・主に原材料が高騰しています。その他の経費も上昇し利益を圧迫しています。

◆小売業

- ・今もなお、コロナの影響を感じている。

◆サービス業

- ・コロナ感染者の増加による客数減少、食材価格の高騰で明るい見通しが考えられない。
- ・高校3年生の自動車教習許可を繰上げてほしい。1～3月集中を緩和しゆとりを持って教習に当たりたい。
- ・全国割により、予約は大変好調でしたが人手不足が回復せず、新型コロナウイルスの濃厚接触等によりさらにそれに拍車がかかりました。また、全国割の規模縮小や感染拡大により新規予約数が伸び悩んでいます。